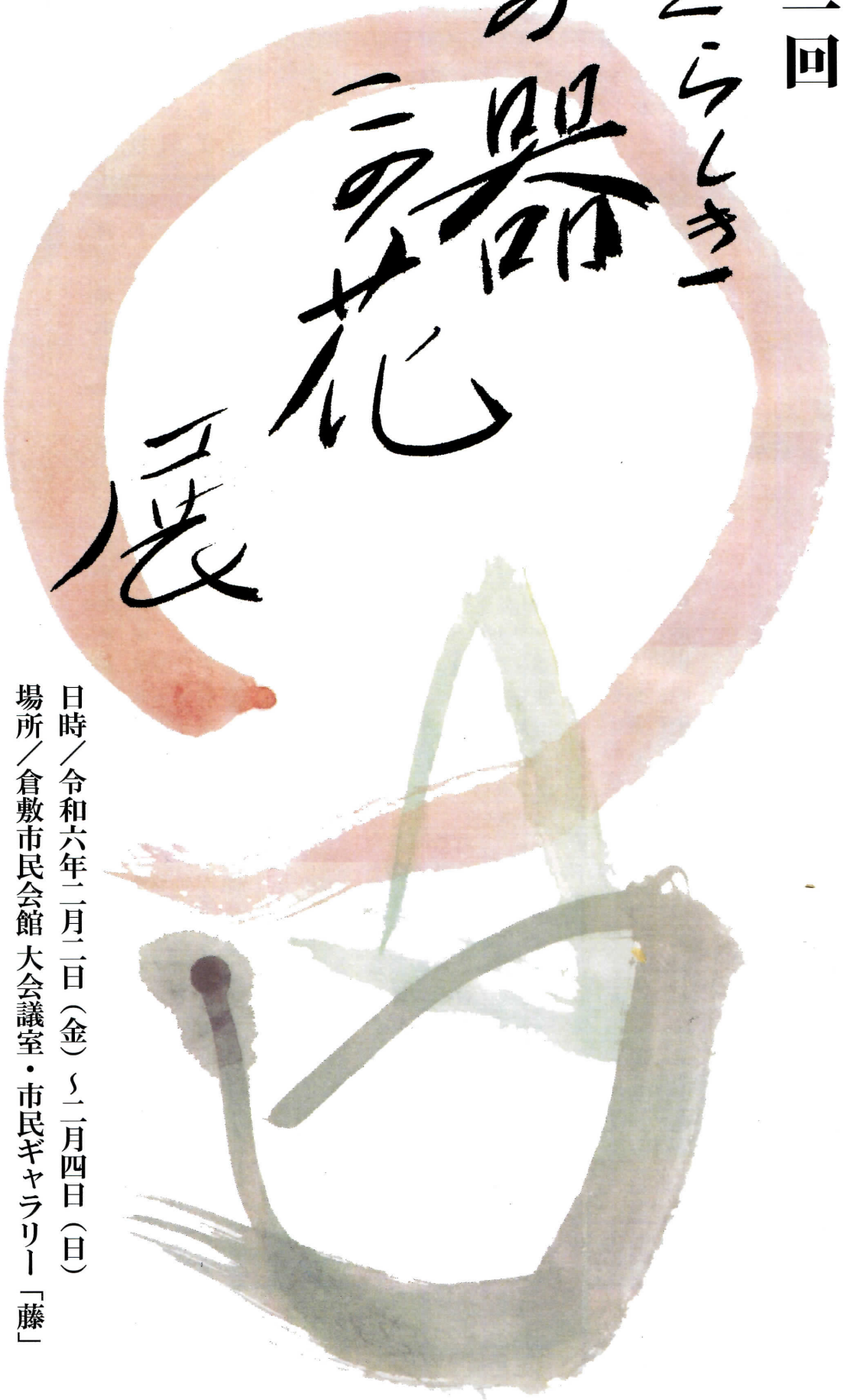
第十一回

くらしきこの器 この花展



陶芸・華道・茶道・邦楽が織り成す究極の一期一会――。

日時／令和六年二月二日（金）～二月四日（日）
場所／倉敷市民会館 大会議室・市民ギャラリー「藤」
開場時間／午前十時～午後五時（ただしお茶室の受付は午後四時まで）
入場料／三百円 ※お茶券付。ただしご観覧のみの場合も入場券は必要です。
※倉敷市内に在住・在学の中学生以下のお子様は入場無料となります。
お問い合わせ／アルスくらしきチケットセンター（倉敷市芸文館1階事務所内）
☎086-434-0010
その他の入場券販売所／倉敷市民会館
主催／倉敷市　倉敷市文化振興財団　共催／倉敷市文化連盟　倉敷市教育委員会
協力／倉敷陶友会　倉敷・玉島・水島・船穂の陶芸同好会　倉敷市華道連盟　倉敷三曲同好会
表千家流倉敷同好会　裏千家淡交会倉敷支部　速水流宗寿会

デザイン／渡邉總一　題字／玄馬千彰

くらしき「この器この花」展 とは

本展は、日本の伝統芸能である陶芸・華道・茶道・邦楽が共演する和文化の総合芸術展です。倉敷市内で活動する陶芸家と華道家が２人１組でペアを組み、器と花の共同作品を制作展示しますが、組み合わせは抽選で決まるため、その偶然の出会いによって思いがけない傑作・奇作が生まれることもあり、本展の大きな見どころとなっています。

会場内では邦楽の生演奏も披露され、お琴や尺八の音色が優美な「和」の風情を盛り上げます。同じく会場内に設けられたお茶席では、お抹茶と茶菓子のおもてなしも行われます。陶芸、華道、茶道、邦楽がジャンルを超えて参集した究極の一期一会。それが「この器この花」展なのです。

出品者一覧

器

岡島　光則	倉敷陶友会
岡本　篤	天神窯
岡本　和敏	天神窯
岡本　研作	酒津焼
岡本　和明	酒津焼
岡本　孝明	酒津兜山窯
岡本　達弥	酒津兜山窯
川上　節子	天神窯
木村　知子	日本工芸会
香西　三樹	城窯
杉村　以久子	空ゝ庵
武内　立爾	酒津榎窯
谷吉　孝之	備前工房たにより
恒枝　陶玉	倉敷弥生窯
恒枝　直豆	楽葉窯
濱田　伸一	鶏尾窯
林　淳子	倉敷陶友会
林　聰江	倉敷陶友会
森　雄二	朔窯
山下　今朝吾	鬼備窯
渡辺　篤	岩谷窯
奥　光司	倉敷陶芸会
近藤　静子	倉敷陶芸会
佐々木　厚子	倉敷陶芸会
田中　恵	倉敷陶芸会
田村　哲	倉敷陶芸会
青木　明美	玉島陶芸会
四宮　静枝	玉島陶芸会
中田　早美	玉島陶芸会
山口　悦子	玉島陶芸会
植田　禮子	水島陶芸会
末次　世司臣	水島陶芸会
村田　澄子	水島陶芸会
山田　紀子	水島陶芸会
浅野　武雄	船穂陶芸会
澤根　俊典	船穂陶芸会
下古立　多美子	船穂陶芸会
高谷　敬子	船穂陶芸会

花

稲生　和代	池坊
尾崎　好子	池坊
田中　玉光	池坊
大崎　渓翠	池坊
福瀧　梅月	池坊
井上　恵子	池坊
見島　一光	池坊
小野　稔子	池坊
藤井　芳子	池坊
安宅　万里子	池坊
田村　琴路	池坊
小野　樹仙	桑原専慶流
渡辺　義風	桑原専慶流
石井　慶月	桑原専慶流
尾崎　洋風	桑原専慶流
小津野　雅翠	桑原専慶流
三宅　和泉	桑原専慶流
中田　利華	桑原専慶流
岡田　頼芳	桑原専慶流
後藤　豊勝	小原流
村田　霞峰	小原流
小田　桂雅	小原流
安原　芳里	小原流
勝良　敬蘭	小原流
小島　文華	小原流
西本　秋翠	草月流
尾高　肇江	草月流
坂本　静翠	草月流
三宅　寿肇	草月流
堀　智香	草月流
小野　和代	専敬流
黒瀬　艶子	専敬流
和氣　美保子	専敬流
小河原　優甫	嵯峨御流
中田　三恵甫	嵯峨御流
木曽　博甫	未生流
板井　皓流	龍生派
久成　美智甫	御室流